

平成 29 年度事業報告


1 基本方針

錦帯橋の世界遺産登録に向けて、県・市・関係団体が連携・協働して、錦帯橋の顕著な普遍的価値（OUV）及び真正性について、市民や県民はもとより、県外の方と共有化する理解増進・情報発信の取組を展開する。

また、県、市及び関係団体それぞれが実施する施策等の総合調整を行う。

2 実施事業

(1) ロゴマークの公募

時期	〔公募〕平成29年11月13日～12月15日 〔発表〕平成30年2月15日
内容	錦帯橋の世界遺産登録へ向けた取組みを県内外にアピールしていくための、様々な場面で活用できるロゴマークの募集
審査	第1次審査 平成29年12月22日（金） 山口県デザイン協会（協会会長ほか役員4名） 第2次審査に向け、7点に絞った 第2次審査 平成30年1月16日（火） 岩国市長を委員長に委員5人で審査 第1次審査で選ばれた7点から 最優秀賞1点、優秀賞2点、佳作3点を選考
結果	応募総数 447作品 37都道府県及び海外（香港）うち県内145作品 最優秀賞  <p>錦帯橋 KINTAIKYO-BRIDGE</p> <p>制作者 氏名 柳本 芳亮（やなぎもと よしあき） 住所 山口県岩国市 職業 会社員</p> <p>制作意図 五橋の美しさを表現 三本の線は岩国山、錦帯橋、錦川を表し、波形には岩国から日本、世界へと錦帯橋の歴史的価値が広がっていくという願いも込めている。</p>

資料 1

(2) 啓発資材の作成

時期	[リーフレット] 平成30年3月
目的	錦帯橋の顕著な普遍的価値の理解増進・情報発信
内容	各種イベント等で配布するリーフレット3,000部の作成

(3) 国内シンポジウムの開催

日時	平成29年11月12日(日) 14時～17時
場所	岩国国際観光ホテル(岩国市)
目的	国内専門家と連携した錦帯橋の顕著な普遍的価値及び真正性の検証
内容	世界遺産の専門家による記念講演、及び錦帯橋の顕著な普遍的価値及び真正性に関する国内専門家によるシンポジウム 基調講演「世界遺産の今と錦帯橋」 [講師] 国士舘大学教授 岡田保良 パネルディスカッション「錦帯橋の顕著な普遍的価値について」 [コーディネーター] 熊本大学特任教授 小林一郎 [パネリスト] 国士舘大学教授 岡田保良 東京大学教授 腰原幹雄 早稲田大学教授 佐々木葉 金沢工業大学教授 本田秀行

(4) ホームページの制作

開設日	平成30年2月15日(木)
目的	錦帯橋世界文化遺産登録推進協議会のホームページの制作
内容	錦帯橋世界文化遺産登録推進協議会や県、市及び関係団体それぞれが実施する施策等の総合的な情報発信
アドレス	http://kintaikyo-bridge.jp/

(5) 広報用素材集の制作

ロゴマーク、HP情報等資料を集成。引き続き、集成を進める